

# 平成 30 年度仙台市図書館事業報告書

～仙台市図書館振興計画(第二次)に基づく事業の実施状況～

令和元年 9 月

教育局市民図書館

# 目 次

総括 / 仙台市図書館協議会の意見 .....	1
-------------------------	---

## 方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

(1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます .....	2
【教養や楽しみとしてのニーズに応え、生涯を通じた学びを支えるサービスの提供】	
【資料を介在とした地域社会の中での落ち着いた居場所としての機能と新たな活力を生み出す場づくり】	
(2) 課題解決に取り組む市民を応援します .....	3
【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集・保存・提供】	
【レファレンス機能の充実】	
【課題解決型情報支援サービスの充実】	
【地域の専門機関との連携】	
(3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります .....	5
【電子情報の整備・充実、デジタル環境への対応】	
【紙媒体と電子媒体の両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】	
【様々なネットワークへの参加連携】	
(4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます .....	6
【地域情報の蓄積・継承・発信】	
【市民と共に進める仙台に関する情報の発掘や発信】	
【震災関連資料の継続的収集と活用】	
(5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます .....	7
【市内大学との連携 / 市内専門研究機関等とのネットワークづくり】	

## 方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

(1) 乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します .....	8
【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】	
【読書のきっかけづくりや継続していくための小学生向けの読書支援の取り組み】	
(2) 障害のある子どもの状況に合った図書サービスを提供します .....	9
【障害のある子どもが利用しやすい資料の収集、読書環境の整備】	
【関係機関との連携を強化し、ニーズに応じた取り組み】	
【障害のある子どもが来館しやすい環境整備】	
(3) ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります .....	9
【各図書館のヤングアダルトコーナーの充実】	
【中高生向け広報の強化】	
【中高生による図書館サポーターの育成】	

- (4) 学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します …… 11
  - 【子どもの学年に応じた利用しやすい形での資料の提供】
  - 【学校との連携を強化し、協働による事業の拡充】
- (5) 家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます …… 12
  - 【子供図書室を核とした地域における子ども読書活動の支援】
  - 【市内の保育園・保育所、幼稚園、児童館・児童センター等の地域施設の支援】
  - 【地域のボランティア育成と活動支援】

**方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために**

- (1) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします …… 14
  - 【市民センター等を活用した図書館サービス窓口の適正配置】
  - 【分室、移動図書館サービスの再編等】
- (2) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします …… 14
  - 【高齢者サービスの充実】
  - 【障害のある人へのサービスの充実】
  - 【外国人が使いやすいサービスの充実】

**方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために**

- (1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います …… 16
  - 【計画的な資料の収集・保存・活用／分担収集の推進と収蔵スペースの確保】
- (2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます …… 17
  - 【図書館サービスの広報、図書館像の共有】
  - 【文字・活字文化振興のための市民活動の支援、市民協働による図書館づくり】
- (3) 図書館資源を適正に配分し、有効に活用します …… 18
  - 【システムやサービスのあり方の見直し】
  - 【資料管理の効果的なあり方についての検討】
  - 【指定管理館のあり方】
- (4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います …… 18
  - 【継続した事業評価の実施／市民による評価や意見の活用】
- (5) 図書館職員の資質の向上に努めます …… 19
  - 【出版文化の状況や利用者の動向を踏まえて選書を行える職員の養成／専門性と経営能力を備えた職員の養成】
  - 【多様な利用者ニーズに対応したサービス提供のための職員のスキルアップ】

## ◆ 総 括 ◆

平成30年度は、仙台市図書館振興計画（第二次）に基づき、予約した本や視聴覚資料の受け取り・返却ができる中田サービススポットを設置し、どこに住んでいても情報が身近に届く図書館サービスの実現を図ったほか、利用者の要望にこたえ、本や雑誌の貸出点数を10冊に増やすなどの利用者サービスの向上に取り組んできた。

また、高等学校向け学校貸出サービスの本格実施、「10代のあなたに贈る『いじめ・命』に向き合う本」のリストを作成・配布し、ヤングアダルト世代の読書支援に努めるとともに、妊娠期の親や乳幼児、子どもが本と出会う機会を提供するなど、様々なアプローチを行ったことで、図書館サービスにおける一定の成果が得られたと考えている。

次年度は、これまでの取り組みを継続しながらも、SNSを利用した効果的な広報や利用促進への取り組みを進め、現代社会にあった図書館サービスの提供に努めていく。

## ◆仙台市図書館協議会の意見◆

### 方向性1 地域や市民に役立つ図書館

- ・ 地域に開かれた活動に力を入れている点は評価でき、今後とも継続してほしい。
- ・ 地域のボランティアや関連する方々の育成、養成講座の開催を働きかける等、地域に読書活動の裾野を広げていく機能・役割が図書館に求められているのではないかと。

### 方向性2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館

- ・ 市内の小学4年生すべてにブックトークを提供していることは評価できる。PRに努めるとともに、今後も継続してほしい。
- ・ 子どもの読書習慣を形成していくためには、読書に意識を向けさせるような、ブックトークやおはなし会の企画が大切であり、児童だけでなく親にも読書の必要性を分かっていただけの工夫が必要だ。
- ・ 学校貸出しのあり方や貸出返却のあり方など教育現場の声に基づいて、サービスを拡充してきている。
- ・ SNSは、図書館と本と子どもたちとのつながりを保つために良い発信ツールだと思う。

### 方向性3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館

- ・ 図書館空白地域の解消のため設置した中田サービススポットは効果が感じられる。今後もサービスの拡充に努めてほしい。
- ・ 日本点字図書館の資料をダウンロードして音訳資料を作成し、全地区館で借りられるようにしている。近くの図書館で利用できるのは便利だと思う。

### 方向性4 自らの変革を進める図書館

- ・ 職員のスキルアップが図書館の基盤となる。積極的に研修等に参加し、その結果を市民へフィードバックできるとよい。

施策 (1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます

平成30年度実施状況

【教養や楽しみとしてのニーズに応え、生涯を通じた学びを支えるサービスの提供】

○本・雑誌の貸出点数を10冊に増やし、サービスの向上を図った。**⑥**

○様々な本や情報と出会うきっかけとなる図書館資料(一般書、児童書、視聴覚資料)の案内やブックリスト等を発行した。

一般向け図書案内	「本の翼」(市民) 「広瀬図書館新刊案内」(広瀬) 「新着セレクト」(宮城野) 「つつじがおか」(榴岡) 「あなたのおすすめ本を教えてください」(榴岡) 「Choice of Books」(太白) 「シニアライフの充実は“図書館”から」(泉) 「本のいずみ」(泉)
児童図書案内	「家読におすすめの本」 「BOOK TREE」 「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」 他 各館でテーマ別図書案内等12種類を発行
中高生向け図書案内	「いじめ・命に向き合う本」 「YAnews」(広瀬) 「福読堂 10代向けブックリスト2019」(広瀬) 「SHARE BOOK」(榴岡) 「YA通信 すばろーずペーパー」(泉)
新着AV資料案内	「AV新着案内」(広瀬) 「Come, Come」(宮城野) 「まんまるシアター」(若林) 「アンシャンテ」(太白) 「キー・ステーション」(泉)
広報紙等	「郷土のかぜ」(市民) 「広瀬図書館だより」(広瀬) 「榴岡図書館だより」(榴岡) 「若林図書館だより 本びより」(若林) 「映画のハナシ」(若林) 「てとてといずみ」(泉) 「子供図書室通信」(泉)
その他	「仙台市職員のための新着図書案内 第1号」(市民) <b>新規</b> 「福袋の本リスト(一般向け・児童向け)」(宮城野) 「仕事に役立つ!本をピックアップ」(宮城野) <b>新規</b>

○文字・活字文化に親しみ、読書活動を推進するための展示を実施した。

- \* 毎月のテーマ展示を行う他、随時話題の資料の展示コーナーを設け、資料選びの参考となるよう配慮した。(全館)
- \* 「追悼コーナー」「芥川賞・直木賞受賞コーナー」等を報道後迅速に設置した。(全館)
- \* 春と秋の子ども読書フェスティバル期間中に関連のテーマ別展示を行った。(全館)
- \* 交流企画課からの依頼を受け、「リトル台湾 in 仙台」及び「長春・中国」関連資料の展示を行った。長春市図書館からは寄贈図書80冊を受けた。(市民)
- \* 職員がテーマを設定して紹介する資料展示「広瀬図書館スタッフのMY本棚」を実施した。(広瀬) **新規**
- \* 米国のアカデミー賞発表に合わせ、「読む映画」展を実施した。(宮城野)
- \* 「あなたのおすすめ本をおしえてください」のアンケート結果をもとに、本の展示を行い、冊子を発行した。(榴岡)
- \* CSR(企業の社会貢献)関連資料コーナーを設置し、市内企業や団体等についての情報を提供した。(若林)
- \* 省エネルギーや再生可能エネルギー関連の資料コーナーを常設し、利用者への啓発を行った。(太白)
- \* 読書週間に合わせて「文学賞特集」展示を実施した。(泉)

**【資料を介とした地域社会の中での落ち着いた居場所としての機能と新たな活力を生み出す場づくり】**

○「落ち着いた居場所」や「交流の場」としての図書館をめざし、市民が「本」や「人」と出会い、豊かな学びの機会を得られるためのイベントや、現役世代も参加しやすい閉館後の催し等を開催した。

- \* 仙台フィルハーモニー管弦楽団主催「日本のオーケストラ音楽」展のトークイベントを開催、関連する図書やCDを併せて展示した。(市民、宮城野、広瀬、若林、太白、泉) **新規**
- \* 閉館後の図書館を会場に、図書館利用を促すための講座Library After-Hours Part3～Part6を開催した。(市民)
  - ・「著者が語る『憲法とみやぎ人』」
  - ・「食べて、話して、住んでみて。」
  - ・「女性と漢方 身近に生かせる漢方の話」
  - ・「男子演奏会 special & 本が奏でる音楽のタベ」
- \* 様々な分野の本に興味を持つきっかけ作りとして「本の福袋」を実施した。(広瀬、宮城野、榴岡、若林)
- \* 広瀬文化センター、広瀬市民センターとの共催で、本に登場する音楽を題材としたコンサートイベント「音楽で奏でる本の世界」を開催した。(広瀬)
- \* 文庫本に表紙を装着して愛蔵本を作る「製本ワークショップ」を開催した。(宮城野) **新規**
- \* 斎藤惇夫氏×藪内竜太氏対談トーク「動物画家・藪内正幸とガンバ」を実施した。(若林) **新規**
- \* 図書館員の手づくり講座「季節を楽しむ簡単切り紙」「フラワーアレンジメントパート2」を開催した。(若林) **新規**
- \* 夜活講座「野菜ソムリエ Midori 流 香りで楽しむヘルシー生活」を開催した。(泉)

施策 (2) 課題解決に取り組む市民を応援します

平成30年度実施状況

**【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集・保存・提供】**

○全国的な図書館利用動向や本市における傾向などを踏まえた、高齢者や障害者なども含めたすべての利用者にとって、様々な課題解決に役立つ資料を幅広く収集した。

	平成29年度	平成30年度
資料受入数(冊・点)	77,643	74,259
蔵書数(冊・点)	2,077,610	2,095,999
個人利用者数(人)	1,358,139	1,524,989
個人貸出数(冊・点)	4,157,986	4,434,917

※図書館で実施した講座等の資料も、受入可能なものは閲覧できるよう整備に努めた。

**【レファレンス機能の充実】**

○社会教育施設や関係機関を通して専門分野に関するレファレンス資料及び情報の収集を行うほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の全館での提供を実施するなど、レファレンス機能の充実に努めた。

▷平成30年度 レファレンス件数 55,416件(平成29年度 59,598件)

\* 国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の提供を継続して行った。(全館)

▷平成30年度 利用件数 139件(平成29年度 利用件数 126件)

- \* 国立国会図書館のレファレンス共同データベースにレファレンス事例の登録を継続して行った。(全館)
- \* 既存のパスファインダー 25 種類の情報更新を行い、より新しい正確な情報を提供できるようにした。(全館)
- \* 「がん情報ギフト」コーナーを新設した。(市民) **新規**

### 【課題解決型情報支援サービスの充実】

- 図書館ホームページやメール配信サービスを通じて、図書館のお知らせやイベントなどの情報発信を行った。
  - \* 図書館ホームページ(イベント情報・新着資料・テーマ別リスト等)を随時更新し、情報提供に努めた。(全館)
  - \* ホームページ「YA 中高生のページ」において、中高生の課題解決に役立つ情報を発信した。(市民)
  - \* 仙台市メール配信サービスにて、毎月定例行事・イベント・お知らせ等の情報発信を行った。

### 【地域の専門機関との連携】

- 地域の専門機関と連携し、市民向け講座・講演会や情報展示コーナーの設置など、地域に関する情報の発信等に努めた。
  - \* 八木山動物公園に図書館専用のパンフレットラックを配置し、各館のイベントの広報を行った。(全館)
  - \* 法テラス宮城との連携講座「老後を穏やかに過ごすために～消費者トラブルに遭わない知恵と工夫」を実施した。(市民)
  - \* 博物館との連携講座「和の心の風景～工芸と物語～」を開催した。(市民)
  - \* 天文台と連携し、「子ども天文教室」を開催した。(広瀬)
  - \* 地元企業と連携し、講演会や「地元企業×広瀬図書館」パネル展示を行った。(広瀬)
  - \* 市民センターや文化センター等のお祭りや震災復興交流事業に参加し、読み聞かせや DVD 上映会を行った。(宮城野)
  - \* アイサポート仙台と連携して、視覚障害者・弱視者の現況と支援に関する講演会を開催した。(宮城野)
  - \* 東口ガイドボランティア「宮城野さんぼみち」と協働して歴史民俗資料館との連携講座「まちあるき歴史散歩 綱村公ゆかりの地をめぐる」を開催した。(榴岡)
  - \* 仙台ライフサポート特定行政書士による「これからはじめる終活の準備」を開催した。(若林)
  - \* ナショナルトレセン東北チーフによるスポーツ講演会「サッカー上達のコツ」を開催した。(若林)
  - \* 富沢遺跡保存館と連携して、同施設でのテーマ展示に関連した図書館資料の展示を行った。(太白)
  - \* 長町地域包括支援センターと連携し、市民講座「これって認知症？」を開催し、関連資料の展示・紹介及び蔵書リストの配布を行った。(太白)
  - \* アニマル仙台(動物管理センター)と連携開催した「教えて！アニマル仙台～ペットとの上手なつきあい方～」、法テラス宮城との連携講座「知って安心！遺言と成年後見」、日本政策金融公庫との共催で創業支援セミナーを開催し、関連するパネル展示のほか、関連資料の展示・紹介及び蔵書リストの配布を行った。(泉)
  - \* 「(仮称)仙台市いじめの防止等に関する条例骨子案」へのパブリックコメント募集の際、骨子案や意見提出用紙を設置し、いじめに関する特集展示を行った。(泉)

施策 (3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります

平成30年度実施状況

**【電子情報の整備・充実、デジタル環境への対応】**

○商用データベースサービスを継続し、利用者に最新の情報を提供した。また、新たに医学・歯学・薬学・看護学等の論文情報が検索できる『医中誌WEB』を導入した。(全館) **(拡)**

▷平成30年度利用者向け商用データベース 8種類(平成29年度7種類)

利用件数 882件(平成29年度 672件)

○市民図書館の郷土資料コーナーに電子資料閲覧用機器を設置し、デジタル化した和書・漢籍・古地図の閲覧サービスを継続して提供した。

▷平成30年度利用件数 16件(平成29年度 15件)

\*地域のモバイルショップと連携し、図書館ホームページでの資料検索演習等を内容とする「タブレット体験教室」を実施した。(広瀬)

\*「情報リテラシー支援講座」を開催し、タブレット型PC体験を通して情報端末による課題解決を体験する機会を提供した。(若林)

\*長町商店街主催の「長町まちかど教室」の一環として太白図書館バックヤードツアーを実施し、商用データベースの紹介などを行った。(太白)

**【紙媒体と電子媒体の両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】**

○ホームページにレファレンス事例集「本の道案内」Vol.1～Vol.5及びパスファインダー25種類を継続して掲載し、図書館活用方法の周知に努めた。

\*河北新報データベースの基本的な操作や便利機能を紹介する利用者向けガイダンスを実施した。(広瀬)

**【様々なネットワークへの参加連携】**

○国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの事例登録を継続して行った。

施策 (4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます

平成30年度実施状況

【地域情報の蓄積・継承・発信】

○図書、逐次刊行物、行政資料のほか映像資料も含め多様な地域資料の収集に努めた。

▷平成30年度郷土資料受入数 2,584冊(平成29年度 2,405冊)

- \*メディアテークとの連携事業「とぷらす・ウィーク」において、「書評をたのしむ」をテーマに、河北新報の書評コーナー『東北の本棚』の制作について担当デスクが語るトークイベントや、東日本大震災を後世に伝えるために設けた「3.11 震災文庫」の所蔵資料のなかから、各方面で活躍する方々がよりすぐりの本について語る座談会を行った。(市民)
- \*郷土史研究者による郷土史講座「正義の戦い 仙台藩の戊辰戦争～仙台藩は賊軍にあらず～」を開催した。(市民)
- \*地域にまつわる記憶や思い出を収集、保存、共有する「思い出アーカイブ」を継続して実施した。(広瀬)
- \*野球関連の図書や雑誌に加え、各種グッズや試合結果を展示し、「東北楽天イーグルス応援コーナー」を引き続き設置し、充実を図った。(宮城野)
- \*地元ゆかりの島崎藤村に関する「藤村コーナー」にて関連資料の展示や紹介を行った。(榴岡)
- \*大人向けの「映画上映会」にて「仙石線今昔物語」等の映像を上映した。(榴岡)
- \*郷土資料コーナーに古地図を掲示したり、閲覧用資料を用意し、コーナーの充実を図った。(若林)
- \*「仙台 89ERS 展示コーナー」を引き続き設置し、試合結果を継続して展示した。(太白)
- \*「バガルト仙台展示コーナー」を引き続き設置し、サッカー関連資料や試合結果を展示するとともに、試合による交通規制情報も案内した。(泉)

【市民と共に進める仙台に関する情報の発掘や発信】

○市民の協力を得て仙台に関する情報の収集と資料の提供に継続して努めた。

▷平成30年度寄贈による郷土資料受け入れ数 1,625冊(平成29年度 1,372冊)

- \*地域資料の紹介や郷土史に関心の高い市民からの寄稿を掲載した情報紙「郷土のかぜ」を継続して発行した。(市民)
- \*仙台の各分野で活躍している市民によるリレーエッセイ「図書館とわたし」を図書館だよりで連載した。(若林)
- \*NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台所蔵資料を借り受け、仙台七夕に関する展示を開催した。(若林)

【震災関連資料の継続的収集と活用】(重)

○東日本大震災関連資料や情報の継続的収集、3.11 震災文庫及び各館震災コーナーの充実と活用を図った。

▷平成30年度末現在 3.11 震災文庫資料収集数 12,287点(平成29年度末 11,654点)

○仙台市政だより全市版に「3.11 震災文庫を読む」の連載を継続した。

- \*「震災の記録 仙台の復興」パネル展示と「3.11 震災文庫」からの資料展示を行った。(市民) **新規**
- \*国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称ひなぎく)に、「3.11 震災文庫」に受け入れた図書等の書誌情報を追加更新した。(市民)
- \*震災後に、仙台でオールロケを行った映画『ポテチ』の DVD 上映会を開催した。(宮城野)
- \*「防災おはなし会」を実施した。(榴岡、太白、泉)
- \*せんだい 3.11 メモリアル交流館と連携し、トークイベント「その場所の記憶を紡ぐ『RE:プロジェクト通信』を通じて」を開催した。(若林) **新規**

施策 (5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます

平成30年度実施状況

**【市内大学との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】**

- 宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を継続して実施し、館内掲示により周知を図った。
  - ▷平成30年度実績 貸出0冊 借受7冊(平成29年度実績 貸出4冊 借受6冊)
- 学都仙台オンライン目録(OPAC)(仙台の大学・短大が参加する横断検索)に継続して参加し、ホームページ上でも周知を図った。
  - ▷平成30年度市内大学図書館への紹介状発行件数2件(平成29年度0件)
- 市内の大学等との連携による取り組みの実施に努めた。
- 利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況確認を行った。
  - \*図書館実習の学生を受け入れ、図書館学を学ぶ学生の養成に協力した。(市民、宮城野、太白、泉)
  - \*国立仙台高等専門学校広瀬キャンパスと連携し、児童向け科学工作会や「英語多読教室」を開催した。また、「高専祭」に参加して広瀬キャンパス図書館との共催による「古本市」の開催により、相互の利用促進に繋げた。(広瀬)
  - \*尚綱学院大学(学生読み聞かせワークショップ)(広瀬、榴岡)、宮城学院女子大学(職場体験)、仙台青葉学院短期大学(日本語表現法の講師として職員派遣)、聖和学園短期大学(施設見学)(榴岡)との連携を行った。

施策

(1) 乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します

平成30年度実施状況

**【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】**

○各種おはなし会を拡充しながら継続して実施し、読み聞かせの楽しさや大切さを伝えた。

**【乳幼児向けおはなし会】**

▷平成30年度実施回数：186回(平成29年度 178回) 参加者数：3,333人(平成29年度 3,412人)

**【幼児向けおはなし会】(幼児～小学校低学年対象)**

▷平成30年度実施回数：532回(平成29年度 514回) 参加者数：8,213人(平成29年度 7,587人)

**【「赤ちゃんとおはなし絵本とわらべうたの会」など、乳幼児及び保護者向けの行事】**

▷平成30年度実施回数：19回(平成29年度 17回) 参加者数：380人(平成29年度 366人)

○乳幼児の保護者向けブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」を継続配布し、平成31年3月に改訂版(第4版)を作成した。

▷配布先：各区家庭健康課・総務課、各のびすく、市立保育所、市内認可保育所、近隣の婦人科クリニック等

○仙台市子ども読書活動推進会議に参加し、関連部署との意見交換や情報交換等を行った。

\* 毎月第4水曜日に「あかちゃんタイム」を継続して実施し、おはなし会や絵本等を通じた赤ちゃんとおはなしのふれ合いの場を提供した。(市民)

\* おはなし会ノート(宮城野、若林、太白)や、おはなし会スタンプカード(市民、榴岡、子供図書館)を配布し、継続参加を促した。

\* 児童館やのびすくで出張おはなし会を実施した。(市民、宮城野、若林、太白、子供図書館)

\* 英会話教室との連携による「えいご de おはなし会」を開催した。(広瀬)

\* 宮城野区中央市民センターが主催する「ウェルカムひろば」に参加して、宮城野区へ転入した乳幼児の親子への絵本の読み聞かせと図書館の紹介を行った。(宮城野)

\* 地域の手づくり市での出前おはなし会「ヤギさんおはなしかい」を毎月開催した。(若林)

\* 「ぬいぐるみおとまり会」を開催し、子どもたちに図書館を身近に感じてもらえる機会を提供した。(若林)

\* 妊娠期の親を対象とした「マタニティおはなし会」を開催し、読み聞かせやわらべうた、本の紹介等を行った。(泉) **新規**

\* 子育て支援通信「てとてといずみ」を継続して作成し、各図書館と各のびすくで配布した。(子供図書館)

**【読書のきっかけづくりや継続していくための小学生向けの読書支援の取り組み】**

○小学校1年生向け図書館利用案内を作成し、学校を通して市内全児童に配布した。図書館に利用案内を持参した児童には「ようこそシール」を貼り、来館を促した。

▷小学校1年生向け図書館利用案内「としょかんへいこう！」 配布校数 132校 配布枚数 8,805枚

▷「ようこそシール」 540枚

○小学生向けにおはなし会や工作教室、1日図書館員等、子ども達に参加できる催しを実施したほか、職場見学・体験学習等の積極的な受け入れなど、様々な読書支援サービスを行った。

\* 子ども映画上映会を開催した。(全館)

\* 夏休みに読書スタンプラリーや「夜のこわ～いおはなし会」を開催した。(広瀬)

\* 図書館に関するクイズを通して理解を深める「としょかんたんていだん」を開催した。(榴岡)

\* 夏休み期間に「宿題お助け隊」を開催し、図書館資料のアピールと利用促進を図った。(若林)

施策 (2) 障害のある子どもの状況にあったサービスを提供します

平成30年度実施状況

【障害のある子どもが利用しやすい資料の収集、読書環境の整備】

- 子供図書室のユニバーサルコーナーをはじめ各館で、触る絵本や点字付き絵本、LLブック等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料の収集に努めた。
- 触る絵本等の関連資料所蔵リストの各図書館での配布とホームページ等での公開を、継続して行った。
- 子供図書室にマルチメディアデイスリー(DAISY)利用のための機器を継続して設置するとともに、利用促進に向けて小学校及び中学校全体説明会、特別支援教育コーディネーター連絡協議会等で周知・広報を行った。
  - \* 児童書の拡大写本「君たちはどう生きるか」をボランティアグループが作成した。(1タイトル4分冊)(宮城野)
  - \* 障害のある子どもにも読みやすい児童向け大活字本を受入れた。(全館)

【関係機関との連携を強化し、ニーズに応じた取り組み】

- 特別支援学級からの要望が多かった資料を中心に貸出資料の充実を図った。
- 特別支援学校・学級専用資料について作成したチラシを、市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ配布するとともに、ブックトーク等で小・中学校を訪問する際にも配布し、広報に努めた。
  - ▷平成30年度利用校数 13校(小学校12校、中学校1校) 延べ35校(平成29年度12校延べ30校)
  - ▷平成30年度利用点数 1,156点(平成29年度984点)
- 利用校に対するアンケートを実施し、ニーズに合った資料の充実を図った。
  - ▷平成30年度アンケートの送付校数: 12校(平成29年度11校)

【障害のある子どもが来館しやすい環境整備】

- \*メディアテークとの連携事業で、手話を使った「手ではなすおはなしの会」を実施した。(市民)
- \*ミニミニおはなし会で手話付の絵本の読み聞かせを実施した。(市民)
- \*施設見学で来館した特別支援学校の子供たちに向けておはなし会を実施した。(市民、広瀬、太白、泉)

施策 (3) ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります

平成30年度実施状況

【各図書館のヤングアダルトコーナーの充実】(重)

- 中高生のおすすめの本の投稿ボックスを全館に設置し、館内にヤングアダルト展示コーナーを設け、中高生向けの本の紹介や展示を行った。
- 中高生向けの本の紹介やビブリオバトル、ボランティア体験等の読書支援サービスを行った。ビブリオバトルは、初心者でも気軽に体験できるよう工夫した。
- 職場見学・体験学習等の積極的な受け入れを継続して実施し、図書館や読書への興味・関心をより深める機会を提供した。
- 高等学校向け学校貸出サービスの本格実施を開始し、全地区館での申込・受取を可能にした。(拡)
  - \* 中高生ボランティア(泉図書館YA委員会)による選書や「おススメブックリスト2018」の作成、本の展示を行った。(泉)
  - \* YAコーナーの選書支援アンケートを実施し、中高生やその親の読書ニーズを把握するとともに、その結果を選書アドバイザー会議における選書支援の参考とした。(広瀬)

- \* 中高生を対象にビブリオバトルを開催した。(若林、泉)
- \* YA向け映画上映会で「恐るべき子供たち」を上映した。(太白)
- \* YA 世代向けの講演会「柳田理科雄氏講演会」を実施し、中高生ボランティアによる運営補助や講師との座談会を設定するなどして、YA ボランティアの活動の PR の場を設けた。(子供図書室) **新規**

### 【中高生向け広報の強化】**重**

- 図書館ホームページの「ヤングアダルト中高生のページ」において、中高生による本の感想を掲載するなど、情報発信を行った。
- 子供図書室で、中高生向けの図書資料や行事を紹介する「YA通信」を発行し、全市立中学校及び高等学校等に配布するなど情報発信に努めた。
- 「いじめ・命に向き合う本」のリストを作成・配付し、併せて展示を行った。また、各市立中学校に配信し、図書館ホームページにも掲載した。 **新**
- 中学校1年生向け図書館利用案内を作成し、市内学校を通して生徒に配布した。
  - ▷ 中学校1年生向け図書館利用案内「図書館にいこうよ！」 平成 30 年度配布校数・枚数 80 校・10,056 枚
- 高等学校1年生向け図書館利用案内を作成し、市内全高等学校に配布した。
  - ▷ 高等学校1年生向け図書館利用案内「いざ！図書館」 平成 30 年度配布校数・枚数 49 校・12,500 枚
  - \* 中高生向けテーマ別図書案内「YAnews」を年 3 回発行し、近隣中学校へ配布を行った。また、夏には「YAおススメ本リスト」も発行した。(広瀬)
  - \* 選書アドバイザーを中高生から募り、中高生向けブックリスト「福読堂」(冊子版・リーフレット版)を作成した。ブックリストは青葉区内中学校及び近隣の高等学校に配布し、同世代の中高生に読書の楽しみをアピールした。(広瀬)
  - \* 選書サポーターを中高生から募り、冊子「SHARE BOOK」を作成し、市内中学校に配布した。(榴岡)

### 【中高生による図書館サポーターの育成】

- 「みんなのおススメの本を教えて！」投稿ボックスを設置し、ホームページでも投稿された本の情報を紹介した。
  - ▷ 平成 30 年度掲示件数 166 件(平成 29 年度 88 件)(再掲)
- 子供図書室で実施した「泉図書館YA図書委員会」では、図書館業務の体験や、同年代に紹介したい「おススメブックリスト」の作成とともに、本の展示を行う等、様々な企画を通して図書館への理解と興味を引くことができた。
- 選書アドバイザーや選書サポーターが作成したブックリストを市内の中学校や高校に配布した。学校の図書室で見て、本の予約をしたという声もあり、中高生の読書支援に繋がっている。(再掲)
  - \* 中高生のボランティア(選書サポーター、選書アドバイザー)によるブックリストの作成を通して、同年代へのおすすめ本の紹介などの情報発信を継続的に行い、読書のきっかけづくりを促進した。(榴岡、広瀬)(再掲)
  - \* 選書サポーターが作成したYA書架用POP広告を掲示した。(榴岡)

施策

(4) 学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します

平成30年度実施状況

**【子どもの学年に応じた利用しやすい形での資料の提供】**

- 小中学校向けにパッケージ貸出と学校貸出を、資料の充実を図りながら継続して実施した。
  - ▷平成30年度パッケージ貸出利用校 98校(平成29年度 79校) 延べ貸出回数 187回(平成29年度 171回)
  - ▷平成30年度学校貸出校 延べ339校(平成29年度 延べ319校) 貸出冊数 14,505冊(平成29年度 15,262冊)
- 教科書変更に伴う新たな学校貸出依頼に対応できるよう資料の補充を行った。
- 「朝の時間に読み切れない」との声に応え、朝読書用パッケージ(中学年用)の資料入替を実施した。
- 学校貸出図書配送サービスにおいて、大型絵本の配送を可とした。
- 高等学校向け学校貸出サービスの本格実施を開始し、全地区館での申込・受取を可能にした。(再掲)

**【学校との連携を強化し、協働による事業の拡充】**

- 公共図書館利用学習への支援を継続して実施した。
  - ▷平成30年度図書館見学、調べ学習 受入校 85校 延べ98回(平成29年度 79校92回)
- 小中学生の職場見学・体験学習等の積極的な受け入れを継続して実施した。
- 図書館発行物(子どもの本の案内等)により学校への情報提供を行った。
- 市立小学校に除籍済資料を無償譲渡し、資料の有効活用を図った。
  - ▷平成30年度譲渡先 14校 譲渡冊数 1,460冊(平成29年度 18校 2,018冊)
- 図書館職員による小中学校へのブックトークを継続して実施し、学校を訪問した際に学校図書事務員との情報交換を行った。
  - ▷平成30年度利用校 140校(平成29年度 140校)
- ブックトークボランティアによる小中学校へのブックトークを継続して実施した。
  - ▷平成30年度利用校 37校(平成29年度 42校)
- ブックトークボランティアの養成講座、ステップアップ講座を実施し、学校で活動するボランティアが増えたことで、ブックトーク事業の充実につながった。
- 学校図書室担当者等向けの研修へ図書館職員を派遣した。
- 市内小中学校・特別支援学校全校を対象に学校連携事業に関するアンケートを実施し、図書館事業に対する要望の把握に努めた。
  - \*不登校児童の適応指導教室の職場体験を受け入れた。(市民、宮城野、太白、泉、榴岡)
  - \*高校生と高等専門学校の図書館実習を受け入れた。(市民、若林)
  - \*大学生と短大生の図書館実習を受け入れた。(市民、宮城野、太白、泉)

施策 (5) 家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます

平成30年度実施状況

【子供図書室を核とした地域における子ども読書活動の支援】

○図書館全館において、春・秋の子ども読書フェスティバルを開催し、特別おはなし会やおすすめの本の展示等により子どもが本に親しむための機会をつくり、家庭・地域への情報提供等を行った。また、本を借りるためのしかけとして「花いっぱいになぁ〜れ」(春)や「ラッキーブックをさがそう！」(秋)などを全館共通で実施した。

▷平成30年度「花いっぱいになぁ〜れ」参加人数 11,530人(平成29年度 11,607人)

▷平成30年度「ラッキーブックをさがそう！」参加人数 12,924人(平成29年度 10,695人)

○児童文学者講演会を開催し、子ども読書活動を推進した。(再掲)

▷児童文学者講演会「柳田理科雄氏講演会」参加人数 203人

○子育てふれあいプラザのびすくと連携したおはなし会の実施や子育て支援通信等の情報紙配布、行事ポスターの掲示等を継続して行った。

▷平成30年度のびすくでのおはなし会実施回数 22回 659人(平成29年度 10回 317人)

○地域の保育所や幼稚園が、園外保育で来館する際に、希望に応じて臨時おはなし会を実施した。

○小学校低学年以下向けと小学校中学年以上向けの2種類の自書式読書通帳を継続して作成・配布した。

また、通帳1冊終えるごとに認定シールを貼付し、子どもが継続して読書に親しめるよう工夫した。

▷平成30年度読書通帳配布数 12,858枚(平成29年度 14,021枚)認定シール配布数 1,667枚(平成29年度 1,195枚)

【市内の保育園・保育所、幼稚園、児童館・児童センター等地域施設の支援】

○児童館等の職員やボランティアを対象とした、読み聞かせやストーリーテリングなど、子どもの読書に関する研修・講座を実施した。

▷平成30年度実施件数 8件 参加者数 211人(平成29年度 10件 226人)

○「子ども読書支援パック」を継続して貸し出した。

▷平成30年度末現在パック数 70種類 166パック(平成29年度末 74種類 167パック)

▷平成30年度貸出件数(保育所・幼稚園・児童館) 172件(平成29年度 213件)

○児童館等職員やボランティアに対して、児童館等主催の子どもの読書に関する講座等へ図書館職員の派遣を行ったり、窓口やおはなし会後の読書相談に応じるなど、リストを配布し情報提供を行った。

▷平成30年度派遣件数 3件(平成29年度 3件)

\*宮城総合支所の「絵本棚」に図書館の絵本 20冊を設置し、毎月差し替えを行った。(広瀬) **新規**

\*榴岡児童館と子育て支援クラブガーネット共催のママ・ココ・フェスティバルに参加し、手遊びや大型絵本の読み聞かせを行った。(榴岡)

\*若林区中央市民センター主催の「ワカチュウ子どもランド」にて、読み聞かせサークルほんわかと協働でおはなし会を開催した。(若林) **新規**

\*長町児童館の留守児童を対象としたブックトークと図書館バックヤードツアーを実施した。(太白) **新規**

○保育所に対して除籍済資料の無償譲渡を行い、資料の有効活用に努めた。

▷平成30年度提供数 15件 731冊(平成29年度 20件 1,167冊)

**【地域のボランティア育成と活動支援】**

○「子ども読書支援パック」を継続して貸し出した。

▷平成30年度貸出件数(ボランティア等) 171件(平成29年度 192件)

○読み聞かせボランティア基礎講座終了後に、のびすくや児童館での読み聞かせの体験を実施した。

○ボランティアの協力を得ながら、年齢・対象別のおはなし会等を積極的に実施した。

▷平成30年度読書活動推進ボランティアの延べ人数 943人(平成29年度 828人)

○ボランティア団体の活動情報を募集し、集まった情報を館内に掲示紹介し、相互の情報共有を図った。

▷平成30年度活動情報チラシ枚数 18枚(平成29年度 23枚)

○図書館を利用する機会の少ない子どもにも、本に親しむ機会を提供できるように、家庭文庫・地域文庫の資料の充実を図るため、文庫への貸出を継続して行った。

▷平成30年度文庫登録数 21団体(平成29年度 22団体)

▷平成30年度貸出件数 80件(平成29年度 75件)

▷平成30年度貸出冊数 3,471冊(平成29年度 3,093冊)

○文庫活動を支援するため、文庫の会の勉強会でブックトークの手法や本の情報提供を行い、新刊案内等の広報紙を配布した。また、文庫との懇談会等を実施した。

○文庫やボランティアと連携して講演会や講座等の事業を行った。

▷平成30年度実施件数 4件 ボランティア延べ人数 85人(平成29年度 3件 49人)

施策	(1) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします
平成30年度実施状況	
<p><b>【市民センター等を活用した図書館サービス窓口の適正配置】</b> (重)</p> <p>○中田市民センター内に、予約した本の受け取りや返却ができる新しい窓口として「中田サービススポット」を開設した。(新)</p> <p>▷平成30年度開設日数 54日 利用者数(延べ)1,146人</p> <p>*開設前に、中田サービススポットの利用促進と地域住民の読書意識調査のため、中田市民センター主催の中田まつりにPRブースを出展し、おはなし会を行うとともに、利用者アンケートを実施した。(市民、太白)</p> <p>○市民センターからの要請を受けて、図書ボランティア養成講座等に講師を派遣し、地域での読書活動の活性化に努めた。</p> <p>*荒町市民センター(市民)、鶴ヶ谷市民センター(市民)、榴ヶ岡市民センター(榴岡)、若林区中央市民センター(若林)、南中山市民センター(泉)</p> <p><b>【分室、移動図書館サービスの再編等】</b></p> <p>○利用者からの移動図書館巡回要望の意見や利用状況を考慮し、巡回コース及び開設時間の調整・変更を行った。</p> <p>▷市内76ヶ所</p>	

施策	(2) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします
平成30年度実施状況	
<p><b>【高齢者サービスの充実】</b></p> <p>○高齢者をはじめとする通常の本の文字が読みづらい方向けに大活字本の収集を行うとともに、集中選書会議で調整のうえ新刊を中心とした大活字本も購入し、全館で資料の充実を図った。</p> <p>▷平成30年度末大活字本受入数 273冊(平成29年度177冊)</p> <p>▷平成30年度末大活字本蔵書数 8,064冊(平成29年度末8,067冊)</p> <p>*高齢者にも関心が高い分野(皇室・認知症等)をテーマとした資料展示やシニア向けの資料展示(広瀬、宮城野、太白、泉)、「充実のセカンドライフコーナー」(市民)、「生き生き家庭生活応援コーナー・シニア向けおすすめ本」(若林)、「医療・介護情報コーナー」(太白)、「ユニバーサルコーナー」(泉)を継続的に設置し、随時新刊本を追加してコーナーの充実を図り、高齢者に向けた資料提供に努めた。</p> <p>*絵本を楽しむシニア男子会による読み聞かせ「大人が楽しむおはなし会」を開催した。(市民、泉)</p> <p>*高齢者のニーズに対応し、映像資料を簡単にジャンル分けした目録をカウンターに備え付けた。(榴岡)</p>	

### 【障害のある人へのサービスの充実】

- 心身の障害等により来館が困難な利用者に対し、図書館資料の郵送貸出を行った。
  - ▷平成 30 年度郵送貸出延利用者数 4,189 人(平成 29 年度 3,621 人)
  - ▷平成 30 年度郵送貸出数 9,712 冊・点(平成 29 年度 8,618 冊・点)
- 視覚障害のある人へ、朗読ボランティアによる対面朗読サービスを実施した。
  - ▷平成 30 年度対面朗読件数 165 回(平成 29 年度 135 回) (メディアテーク分を除く)
- 全館に拡大読書器、筆談ボード等を設置するなど、障害者へ配慮した。
  - \*ボランティア団体「拡大写本の会」による拡大写本制作の支援を引き続き行い、仕上がった拡大写本を受け入れし、利用に供した(拡大写本 2 タイトル 7 分冊点完成)。(宮城野)
  - \*手話のできる職員が「手話」バッジを着用するようにした。(宮城野)
  - \*対面朗読ボランティアスキルアップ講座を開催した。(太白)
- 宮城野図書館が日本点字図書館(サビエ図書館)に施設登録し、利用者へのデイジー(DAISY)資料の貸出を継続して行うとともに、館内へのポスター掲示により広報した。
  - \*視覚障害者へのデイジー資料(録音図書)を作成した(担当:宮城野図書館)。
    - ▷平成 30 年度 デイジー資料 360 点 累計 1,195 点 (平成 29 年度 デイジー資料 334 点 累計 835 点)
- 障害者サービスに配慮した行事を開催したほか、図書館ホームページ上でも障害者サービスの広報に努めた。
  - \*障害のある方の就労実習の受け入れを行った。(市民、宮城野)
  - \*「見えない・見えにくい人への接し方」をテーマに、視覚を制約された状態での歩行体験を交えた講座を開催した。(宮城野)
  - \*成人向け講座「教えて！アニマル仙台～ペットとの上手なつきあい方～」を実施する際、手話通訳者を配置した。(泉)

### 【外国人が使いやすいサービスの充実】

- 選定会議、調整会議等で調整のうえ、外国語資料(一般洋書)の充実を図った。
  - ▷平成 30 年度外国語資料受入数 115 冊(平成 29 年度 64 冊)
  - ▷平成 30 年度末外国語資料蔵書数 4,698 冊(平成 29 年度 4,778 冊)
- 外国人向け利用案内(英語・中国語・韓国語)を継続して配布するとともに、図書館ホームページでの情報提供を行った。

施策 (1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います

平成30年度実施状況

**【計画的な資料の収集・保存・活用／分担収集の推進と収蔵スペースの確保】**

○仙台市図書館資料収集方針に基づき、集中選書会議の中で、専門書や高額資料の購入について検討し、各館の分担収集分野に応じた配置を行った。

市民	郷土資料、東日本大震災関連資料、哲学・歴史・社会科学・ビジネス支援・建築・美術・言語関係資料
宮城野	文学関係資料
若林	農業・園芸関係資料
太白	健康・医療関係資料
泉	児童書研究資料、自然科学・技術工学・ビジネス支援・福祉関係資料

○書庫内の資料の計画的な除籍により資料収蔵スペースを確保し、魅力的な書架の提供に努めた。

○除籍資料を有効活用するための市内各団体向け譲渡会を継続して開催した。

▷平成30年度(児童書)小学校、保育所等 29ヶ所 2,191冊 (平成29年度(児童書)小学校、保育所等 38ヶ所 3,185冊)  
 平成30年度(一般書)市民センター等 8ヶ所 771冊 (平成29年度(一般書)市民センター等 8ヶ所 1,056冊)

施策

(2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます

平成30年度実施状況

**【図書館サービスの広報、図書館像の共有】**

- 行事開催の案内等を市政だよりや「ぱど」等のフリーペーパーに掲載するほか、公共施設や商業施設にも配布・掲示し、幅広い層への周知を図った。
- 多様な機関や市民団体との連携、行事・事業への参加、ラジオ放送等により、図書館サービスについての情報を発信した。
- 図書館ホームページでのイベントのお知らせやメール配信により、周知を図った。
  - \* 「仙台市職員のための新着図書案内」及び「仕事に役立つ！本をピックアップ」リストを市役所職員用掲示板で周知した。(市民、宮城野)
  - \* JR や地下鉄の駅に、図書館の新刊案内やイベントポスター等を掲示し、広報に努めた。(広瀬、宮城野、若林、太白)

**【文字・活字文化振興のための市民活動の支援、市民協働による図書館づくり】**

- ボランティアや市民の協力を得て、各館で多様な取り組みを行った。
- 対面朗読ボランティアスキルアップ講座等、図書館で活動するボランティアを対象とした研修を実施した。
- 読み聞かせボランティア養成講座を修了した参加者に、子どもと本をつなぐ活動をしているボランティアの活動情報を提供するとともに、活動の場を提供した。
- 本の修理や書架整理等を行うボランティアを募集し、市民参加を促進した。
  - \* ボランティアによるおはなし会を実施した。(各館)
  - \* 本の修理や返却された本を書架に戻す作業を、ボランティアの協力を得て行った。(市民、宮城野、若林、太白、泉)
  - \* 「広瀬図書館まつり」で、ボランティア団体との協働による「おはなし会リレー」を実施した。また、継続して実施している読書会事業の参加者が選書した資料を「読書会の本棚」として展示した。(広瀬)
  - \* 市民センター等に「図書ボランティアスキルアップ研修」の講師を派遣した。(榴岡)(再掲)

施策	(3) 図書館資源を適正に配分し、有効に活用します
平成30年度実施状況	
<b>【システムやサービスのあり方の見直し】</b>	
○雑誌スポンサー制度を導入した。(広瀬、宮城野、榴岡、若林、太白、泉) <b>新規</b> ▷平成30年度ステッカー 400枚、参加企業 4社	
○資料配送サービスについて、実態に合った配送時間に調整した。	
<b>【資料管理の効果的なあり方の検討】 (重)</b>	
○市民図書館と太白図書館に盗難防止装置を設置した。 <b>新規</b>	
<b>【指定管理館のあり方】</b>	
○指定管理者制度導入館に対して指導・監査を実施するとともに、管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページ上で公表した。	

施策	(4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います
平成30年度実施状況	
<b>【継続した事業評価の実施／市民による評価や意見の活用】</b>	
○仙台市図書館振興計画に基づき実施した事業が、地域や市民にどのような効果をもたらしたのか点検・自己評価を行い、第三者による評価として仙台市図書館協議会から意見を受けて報告書としてまとめ、市民に公表した。	
○市民の意見や要望を把握し、より良いサービスが提供できる図書館経営を行うため、利用者向けアンケート調査や利用者懇談会を実施し、その結果をホームページで市民に公表した。	
○全館に意見箱を常設し、利用者の意見を聞く機会を設けるとともに、意見と回答の掲示を行った。	
○指定管理者制度導入館に対して管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページ上で公表した。(再掲)	
○寄せられた意見、要望に応じて可能な改善を行った。	
*本・雑誌の貸出点数を10冊に増やし、サービスの向上を図った。(全館)(再掲)	
*タッチパネル OPAC に付属するキーボードの位置を高くするための台を設置(広瀬)	
*拡大写本のリスト作成、館内視聴ブースの座席に荷物かごを配置(宮城野)	
*館内での飲食ルールについて閲覧席に掲示(榴岡)	
*定例おはなし会の実施時間を15時から15時半に変更。(若林)	
*書架サイン、利用マナーに関する掲示の刷新(若林)	
*館内巡回の強化や勧誘行為禁止の呼びかけ、閲覧席の利用マナーに関する掲示、椅子等の配置換えによる利用の改善、貸出カウンター近くに資料の鞆詰め用の机を新たに配置(太白)	
*利用者が館内で利用できるカゴやカートの設定、貸出カウンター前に手荷物置き台の設定、窓口誘導用のベルトパーテーションの設定、配布用図書館カレンダーの用紙サイズ・文字サイズを大きくした。(泉)	

施策 (5) 図書館職員の資質の向上に努めます

平成30年度実施状況

**【出版文化の状況や利用者の動向を踏まえて選書を行える職員の養成／専門性と経営能力を備えた職員の養成】**

○専門機関等から講師を招き、各種研修を実施した。

(実施テーマ)

- \* 職員のスキルアップについて
- \* 図書館向けファシリテーション技術について
- \* レファレンス・サービスについて

○国立国会図書館、日本図書館協会、北日本図書館連盟、国文学研究資料館等の専門機関等の実施する研修に参加した。

(各館の参加状況)

- \* 北日本図書館連盟の研究協議会(市民)
- \* 図書館地区別(北日本)研修(市民、広瀬、太白)
- \* 国立国会図書館の研修会(市民、太白)
- \* 日本古典籍講習会(市民)
- \* 文部科学省の新任図書館長研修(広瀬)
- \* 国立大学図書館協会東北地区協会主催職員研修(広瀬、宮城野、榴岡)
- \* 国際子ども図書館研修(太白)
- \* 公共図書館のマネジメントクラスを対象とする指定管理者主催研修(広瀬、榴岡)
- \* 指定管理者主催の児童サービス研修(広瀬、若林)
- \* YAに関わる取り組み事例の共有などを目的とする指定管理者主催のYAサービス研修(広瀬)
- \* 児童書への理解を深めることを目的とした指定管理者主催の児童書研究会(広瀬)
- \* ブックトーク、手あそび等をテーマとする各種の外部研修(宮城野、榴岡)
- \* 図書館におけるハンディキャップサービス、YAサービスに関する研修(榴岡)
- \* レファレンスの実践的なスキルを向上させることを目的とした指定管理者主催研修(榴岡)
- \* 全国図書館大会東京大会の資料保存分科会(若林)

**【多様な利用者ニーズに対応したサービス提供のための職員のスキルアップ】**

○窓口対応に求められる接遇について専門家を講師に招き、研修を実施した。

○市民図書館主催の研修について、研修レポートを全館で共有する取り組みを実施した。

○関連する各種研修に担当職員が参加し、スキルアップを図った。

(実施テーマ)

- \* 接遇研修
- \* 図書館における多文化サービスについて

(各館の参加状況)

- \* レファレンス担当職員向け有料データベース操作研修(「ルーラル電子図書館」、全館)
- \* 図書の修理・補修に関する指定管理者主催研修(広瀬・若林)
- \* アンガーマネジメント、ストレスマネジメントに関する指定管理者主催研修(広瀬)
- \* 全国図書館大会東京大会の障害者サービス分科会(太白)

## ◇◆◇方向性ごとの課題・改善策◆◆◇

### 方向性1「地域や市民に役立つ図書館」についての課題・改善策

#### 【震災関連資料等郷土資料の収集及び活用】

- ・「3.11震災文庫」をはじめとした郷土資料の継続収集とともに、広報物発行や関係機関との連携イベント等を通じ、資料の利用促進を進める。

#### 【電子情報の整備・充実、デジタル環境への対応】

- ・ホームページの充実、ツイッター等のSNSによる情報発信、電子資料の調査、各種ネットワークへの参加等、状況に応じた取り組みの実現に向けて調整を進めていく。

### 方向性2「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」についての課題・改善策

#### 【ヤングアダルト世代の読書支援の充実】

- ・ヤングアダルト世代にも効果が高いと考えられるツイッター等のSNSを活用した広報への取り組みを進める。
- ・いじめや命をテーマにした資料にするリストの更新など、中高生の心に寄り添う読書支援の取り組みを継続して進める。

#### 【学校との連携強化による子どもの読書活動の積極推進】

- ・貸出用パッケージをより使いやすいものに磨きあげて、学校貸出サービスの拡充を図っていく。

### 方向性3「市民一人ひとりに利用しやすい図書館」についての課題・改善策

#### 【中田サービススポットの効果検証と図書館サービスの検討】

- ・平成30年11月に設置した中田サービススポットの効果検証を行い、本格実施につなげていく。
- また、併せて、今後に向けた図書館サービスのあり方についても検討を行う。

#### 【図書館サービス窓口の充実】

- ・図書館空白地域に図書館サービスを提供するために、老朽化の著しい移動図書館車について、車両の更新が必要である。

### 方向性4「自らの変革を進める図書館」についての課題・改善策

#### 【市民協働による図書館づくり】

- ・ツイッター等のSNSを活用し、図書館の現状や今後の取り組みなどを広く発信するとともに、市民が自主的、積極的に図書館の事業に参加できる企画や環境づくりを進める。
- ・利用者サービスの向上として、開館時間を繰り上げる。